



令和8年（2026年）7月21日発行

事務局便り

～夏休み前特別号～

東園小学校PTA事務局

放課後の公園での過ごし方と「ながら見守り」の御協力のお願い

いつもPTA活動への御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

保護者の皆様は、放課後に子どもたちが遊んでいる様子をご覧になったことはありますか？

子どもたちにとって、放課後に友達と公園で遊ぶ時間は、楽しい時間であると同時に、友達との関わり方やルールを学び、自分で考えて行動する力を育む大切な機会でもあります。

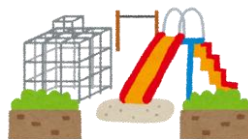
子どもたちが安心して過ごせる環境づくりのために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割に関わりながら支えていくことが大切だと考えています。

保護者の皆様にも、以下の点について御理解と御協力をお願いいたします。

① 「ながら見守り」への御協力をお願いします

PTAでは、今のところ新たに「公園見回り当番」などの活動を設ける予定はありませんが、その代わり、保護者の皆様の日々の生活の中で、

- ・お買い物のついでに
- ・お散歩しながら
- ・お子様の送迎の途中に
- ・お仕事の行き帰りに



〇〇しながらや、
～のついでに、
でOK!

地域の公園や子どもたちの様子を少し気にかけていただく「ながら見守り」に御協力いただければと思います。地域の大人が温かく見守っている環境は、子どもたちの安心や安全につながります。

② トラブルを見かけたときは、無理に介入する必要はありません

公園で危ない遊び方をしている様子や、子ども同士のトラブルを見かけた際、保護者の方がその場で直接注意したり、解決に入ったりすることが必ずしも必要とは限りません。状況によっては、子ども同士の関係悪化や、その後のトラブルにつながることもあります。

「危険な遊び方をしていた」「気になる様子があった」

など、お気付きのことがあれば、すぐに学校へ情報共有していただくことも大切な見守りの一つです。

※けがや危険が伴う場合など、緊急性がある場合は、安全確保を優先してください。



公園内にある水飲み場での
トラブルも増えています💧



③ 困ったことがあったとき、まずは親子で考える時間を大切に

学校へ相談することは、子どもたちの安心につながる大切な方法の一つです。

一方で、放課後のお友達との関わりの中で起きた出来事については、まず御家庭でお子様の話を聞き、一緒に考える時間をもつことも、子どもの成長にとって大切な経験になります。

例えば、

「そのとき、どうしたらよかったかな？」

「次に同じことがあったら、どう伝えてみようか？」

「少し離れてみるのも一つの方法だね」



など、親子で考えることで、子ども自身が困った場面に向き合い、解決する力を育むことにつながります。

ただし、けがをした場合や、怖い思いをした場合、継続的に困っている場合など、家庭だけで解決することが難しいこともあります。

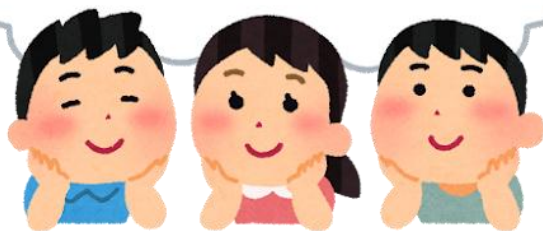
そのような時は、学校とも相談しながら対応していくことが大切です。

子どもたちが自分で考え、安心して過ごせる地域へ

東園小学校 PTA は子どもたちの成長を支えるために、学校・家庭・地域で温かく見守り、子どもたちが困った時に、子どもたち自身で考えて行動する力を育むこと、また家庭・学校・地域で支えていくことを目的として、上記 ①～③ の取組を進めていきたいと考えています。

ぜひ御家庭でも一緒に読みながら、放課後の過ごし方や、困った時の対応について話し合う機会にしていいただければ幸いです。

何か困ったことがあった時、
どんな行動をすればいいかな…？
みんなも考えてみてね！



相手に気持ちを伝えること！
「それはイヤだな。」とか「やめてほしいな。」って言葉で伝えられたらいいよね。

その場から離れることも一つの方法かもしれないよ。



私は帰って、おうちの
人にすぐ伝えるよ！



困る誘いにはすぐのらず、
「断る勇気」をもつこと
も大切だと思うな。